

★チャレンジ! 夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

「こいのぼり」を見て…

ゴールデンウィーク中、太田地域を車で散策しました。そのとき、「こいのぼり」をあげている家は何軒かありました。かつて、私の家でも「こいのぼり」をあげていたなあと思い、懐かしく感じました。風にそよぐ「こいのぼり」を見て、次の「こいのぼり」の歌を思い出しました。

- 一、 いらかの波と 雲の波 重なる波の 中空（なかぞら）を
たちばなかおる 朝風に 高く泳ぐや こいのぼり
- 二、 開（ひら）ける広き その口に 舟をものまん 様（さま）見えて
ゆたかにふるう おひれには 物に動ぜぬ すがたあり
- 三、 ももせのたきを 登りなば たちまち竜に なりぬべき
わが身に似よや 男子（おのこご）と 空におどるや こいのぼり

おそらく、ほとんどの方が「♪屋根より 高い こいのぼり～♪」ではじまる「こいのぼり」の歌の方が馴染みがあるかと思います。この歌は七五調の文語体であるため、あまり歌われなくなってきているように感じます。ですが、5年生の音楽の教科書には、古くから歌いつがれ、これからも歌いついでいきたい「こころのうた」して掲載されています。この歌の3番の歌詞は、鯉が滝を登って竜となり空に上がっていくという中国に古くから伝わっている伝説に基づいてつくられたという話を聞いたことがあります。

太田地域の「こいのぼり」を見て、お家の方々は、鯉が滝を登るように、子どもたちに苦しいことや辛いことを乗り越えて立派に成長してほしいという願いを込めて「こいのぼり」をあげているのではないかと感じました。

右の写真は、今朝の子どもたちの様子です。学校図書館で図書委員の〇〇〇〇さんが本の貸し出しをしていました。多くの子どもたちが読みたい本を探し、借りていきました。ゴールデンウィーク明け、全員が元気に学校生活を送っている姿をみて、うれしくなりました。



子どもたちが元気で楽しく毎日を過ごすとともに、子どもたち一人一人がいろいろなことにチャレンジし、できることをたくさん増やしてほしいと願っています。